

秋月中学校の文化祭：日本の教育システム

10月22日、秋月中学校の文化祭を見学してきました！

秋月中学校では以前ワークショップをしたことがあるため、多くの生徒さん達が私に気づいてくれて嬉しかったです。

日本の文化祭に参加するのは初めてでしたが、アニメを通してどんなものかは既に知っていたので、実際の様子を見ることをとても楽しみにしていました！

チュニジアでは、学校の予算が余った場合に、一年を締めくくるフェスティバルが行なわれます。最近では、特に私立の学校で、課外活動やクラブ活動、生徒のレベルや成長を披露するためのオープンデー等が盛んですが、いずれも不定期で全員参加というわけでもありません。

体育館で文化祭が始まると、みんなの真剣さ、高い専門性、そして組織だった秩序に驚きました。パフォーマンスだけではなく、みんなの姿勢や整列の仕方、ステージの様子、来賓席、撮影の様子、どこを見ても、ただただ完璧でした。

ここまで非の打ち所のないパフォーマンスをするために、生徒さん達は本当にたくさんの練習をしたのだと思います！ 光月流太鼓、合唱、英語スピーチ、色々な問題についての日本語での意見発表（エコロジーや消費主義について等）、そして3つの劇など、多種多様なパフォーマンスが披露されました。劇を通して、秋月眼鏡橋建設の歴史や日本人として初めて渡米したジョン万次郎のこと、オンライン上のいじめ問題について知りました！

文化祭のような取り組みは、世界中の学校にとって素晴らしいインスピレーションになると思います。この文化祭を通して、生徒さん達自身にとっても日本にとっても明るい未来が見えた一日でした！

